電子メール送信事務による個人情報の漏えいについて

令和 7 年 7 月 1 8 日

公益財団法人福島県農業振興公社

当公社が、新規就農を目指す方に「就農準備資金」を交付する事務に関して、当該資金を受給されていた方に対し、就農状況等の定期報告を促す連絡をした際に、誤って他の受給者のアドレスを含む電子メールを送信したことが判明しました。

今回のような事案を起こしたことを重く受け止め、公社として二度とこのような事案を招くことがないように、個人情報保護の一層の徹底を図るとともに、再発防止に努めてまいります。

<概要>

令和7年7月16日午前11時49分、当該資金を受給されていた方93名に対し、就農状況等の定期報告を促す電子メールをお送りしましたが、本来、個別のメールアドレスを隠して(BCC)送るところ、誤って、見える形(TO)で送ってしまいました。

<対応状況>

メールの誤送信が発覚後、対象の受給者全員へお詫びを申し上げるとともに、当該メールの破棄と他用しないようお願いいたしました。

なお、現時点では、受給者から二次被害等の連絡は受けておりません。

<再発防止策>

- (1) 外部への複数のあて先へのメール送信にあたっては、BCC欄の使用を徹底し、送信前に複数職員によるダブルチェックを実施することで確認体制を強化します。
- (2) システム側でのメール誤送信を防ぐための対策を早急に講じてまいります。
- (3) 個人情報保護の重要性について、改めて全職員に対して注意喚起を行うとともに、継続的な研修を行ってまいります。